第１７回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

◆開催日時：平成３０年４月１２日（木）　１８：３０～

◆開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆出席部会員：部会長　　長部　正之

　　　　　　副部会長　谷﨑　博美

　　　　　　部会員　　荒川　昌伸

　　　　　　　　　　　山下　克彦

対馬　秀樹（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

　　　　　　　　　　　南　　三明（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

◆欠席部会員：部会員　　中川　信市

　　　　　　　　　　　西尾　拓也

◆事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　今野　沙弥【市民生活部市民協働グループ】

◆その他：　　　　　安部　直也【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆議題：ウオーキングマップ完成版の確認と今後の議題について

**≪部会長≫**

　今までマップや健康しばりでずっと動いており、本来お話ししたい話が停滞しておりましたが、マップが出来たということで事務局から参考になる資料を用意してもらっています。

今日は、これを見ていきなり話すという訳にはいかないと思いますので、各委員の皆さんが、こういう方向性で少し話したいことがあるとか、そういうことを持ち帰ってよく見ていただいて、次回の会議から机上のお話になればいいかなという風に思っております。

完成したマップのほうをみんなで確認して、良かったねということで締めたいと思います。

**≪事務局≫**

社会教育Gの職員が来ておりますので、説明をお願いしたいと思います。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

当初は予算も限られているということで、本来はリニューアルメインで、大きな変更をするといった思いではなかったのですけれども、委員の皆さんの意見を踏まえながら一緒に作っていき、成果品として自分たちが思っていた以上にかなり良いものが出来たのではないかと思っています。

思いの全てを反映出来てはいないのかもしれませんが、これをベースとして追加なり、変更なりをしていくことも可能かなという風に思っております。

早いうちにホームページでも公表するのと、報道の方にも情報提供したいと考えております。

**≪部会長≫**

　この二次元バーコードのおかげで情報量を減らさずにスペースを減らせたのでよかったと思います。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

そうですね。当初はこの部分も完全に切り離す、なくすという案もあったのですが、結果としてここで載せられて良かったと思っています。

**≪部会員≫**

これは配布するのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

　まずは１００部程度ずつくらい各公共施設に置こうということでまとめている段階です。

**≪部会員≫**

　もう置いているのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

　市民会館には置いています。他の公共施設にはこれから配布しようと思っています。

**≪副部会長≫**

新聞報道は依頼するのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

新聞社にもこれから提供しようと思っています。ただ、あまり広めてしまうと一気になくなってしまうのが少し心配ではあります。

**≪副部会長≫**

最初に無くなってくれたほうが大好評と言えて良いと思います。

**≪部会員≫**

ホームページにはいつ頃載るのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

大方出来ていて、あとはマップのデータを埋め込めればすぐにでも公表出来るという風に聞いておりました。

**≪部会員≫**

マップはホームページからも印刷出来るのですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

そうですね。ただこの形では対応出来ないので、各自必要な部分を印刷するという形になると思います。

**≪部会員≫**

　これは予算内で出来たのですね。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

出来ました。

**≪部会員≫**

教育委員会内での評判はどうですか。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

内部でも好評です。

**≪部会員≫**

避難場所に海抜の表示がついているのが良いですね。

**≪部会長≫**

グラデーションがついていて高低がわかるともっと良いですね。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

そうですね。それも委員さんからも話がありましたし、市の内部でも高低差をわかるように出来ないのかという話は受けていたのですが、予算上の関係で今回は削っています。

**≪部会員≫**

本当は薄く等高線が入っていればいいですね。

**≪庁内委員≫**

望洋山岳コースの所はちょっとした山になっているため、山が連なっている絵を描くとか、来馬川コースも中学校通りと川では高さが結構違います。これだと平面的に見えてしまいます。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

次回の更新の時に検討します。

.

**≪部会員≫**

海抜が載っているので、良いのでは。大きさも見やすくて良いです。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

一つにまとめられて良かったと思います。

**≪部会員≫**

前は９冊だったので、全部持つと大変でした。

**≪部会員≫**

ホームページに載れば、スマホを見て確認することも出来ますね。

**≪副部会長≫**

私は来馬川の死んだ河口という表現があまり好きではないです。

**≪部会員≫**

資料を見たら、死んだ・河口という風には書いていますが、解釈としては、淀んだとかそういうことを意味するだろうとあります。

**≪部会員≫**

でも本当に完成して良かったですね。ご苦労様です。

**≪社会教育Ｇ職員≫**

ありがとうございます。あとはまた更新のタイミングで表示の部分など調整をしながら残していければ良いかなと思っています。

**≪副部会長≫**

きっとマップを出してから市民から意見が出てくると思います。

**≪部会長≫**

スポーツが得意な人に頼んでアドバイスが入った動画を作るとか、そういうことも良いかもしれないですね。

今後、色々なことが反映出来る礎になったと思います。非常に良かったのではないかと思います。

（社会教育G総括主幹　退席）

**≪部会員≫**

それでは、今後何を考えていきましょう。

**≪庁内委員≫**

市民自治推進委員会全体でテーマはないのですか。

**≪事務局≫**

最初は健康でやりましたけども、それは立ち上げ当初だったので、まず統一してやろうという話でした。それがある程度落ち着いたら、それぞれ各部会が　本来やるべき第３期基本計画の各章のテーマをやっていこうという形になっています。

**≪部会員≫**

継続する部会は継続するのですか。

**≪事務局≫**

まだ終わっていないところは継続しても良いですし、この部会は一段落ついたので、本来の基本計画第４章のところで取り組むべきところを部会の中で話し合って決めてもらえばいいかなと思います。

**≪部会員≫**

なにをどう考えればいいのか見当がつきません。

マップはたまたま教育委員会の予算で作りましたが、話に出たものが結果としてどのように検討され、具体化されるのかそのような流れがどうなっているのかが全然わかりません。

**≪事務局≫**

各部会の中に関係する部の職員が入っているので、話になった部分を庁内部会員が持ち帰り、反映出来るものについては反映して市の中に取り込む流れになっています。

例えば、お金がかかるものがあるというのであれば、市に持ち帰って反映できるかどうか検討して、予算化出来るのであれば予算化します。

なので、そういう形で反映ということになりますが、部会自体があれをやってほしいと市に対して言うだけではなく、マップを作った時みたいに、民間のほうで出来ることは民間で、市民で出来るものは市民で、それぞれが出来ることを一緒にやっていこうという形になりますので、みんなで知恵を出し合って何かいい方法に持っていけないかなということです。

**≪副部会長≫**

市民の方々がどう考えているのかなという題材みたいなものはないのですか。

**≪部会員≫**

自分はあります。観光協会のメンバーにも会って話を聞いたのですが、登別市内をループ状に循環できるようなルートをつくることは、防災上の観点からも都市整備の観点からも非常に重要なことだと思うのです。観光やそういう人の行き来に対しても非常に有効です。

例えば、倶多楽火山は現在大規模な活動は終えていますが、ここ近年では小さな水蒸気爆発をしている状態です。温泉へ行く道は２本ありますが、何かありそこが絶たれた時に、ループで何か出来ないかという話をしました。いくつかループの道を作り、そこを散策路にする。ただ、行き先が絶たれた時は、逃げるとか救出用の道にする。そのように市内をループにして循環的に回れるような、散策路や道路も含めて作っていくと、都市基盤としても市民が憩う散策路としても、それからいろいろな観光のやりとりにしても非常に重要になってくるのではないかと思うのです。

特に私が心配しているのは、野口観光からずっと上のカルルスに行く道は崩れるのではないかと思うのです。昭和５０年代の水害の時に航空写真を見ると何か所か崩れていました。あそこが崩れると道路が流れて寸断されます。

あと何かあり昔の旧厚生年金のあたりが崩れて絶たれたらどうしようか、などそれくらい考えた方がいいと思っています。

登別温泉は、従業員はほとんどそこに寝泊まりしないので観光客だけが取り残されてしまう場所です。ですので、ありとあらゆる方策を１０年、２０年かけて作っていく必要があると思います。

**≪副部会員≫**

同感です。私も何年も前から言っています。道が、北海道は観光でいきますと言っているのですから、少なからず観光客の安全くらいは確保してあげないといけないです。そこの部分は北海道に、登別はこうしたいですと言ってお金を出してもらって、大きなところを整備するなど。そして小さいところを私達が刺さっていけば、お金がかからずに整備出来ます。

**≪部会員≫**

市が見ていくと、色々ループ化出来るところがあるのではないかと思います。今日のマップにも避難拠点が載っていますが、平野部がやられた時にループ化が出来るのかどうか。車で行けなくても人が通れればなんとかなるというケースもあります。そのような道は散策路やフットパスにするなど、複合的な機能を持たせた循環路を整備していけば良いのではないかと思っています。

**≪部会長≫**

一時避難場所に避難したはいいけど、そこに孤立するということもあり得るわけですからね。

**≪部会員≫**

避難場所はある程度決めたのでしたか。現地に行って現状の話をしましたが、そこで終わっているのでしょうか。狭いから少しここを広くして、などの話の続きにはなっていないのでしょうか。避難場所はわかるけど、どこに逃げるのか。少なくとも避難場所を決めたらそこを公園みたいな感じに整備するとか、そのようなことにつながるのではないかと期待して、建設協会で一生懸命行って現状を把握しました。

**≪庁内委員≫**

例えば温泉街が孤立した時に、当然ホテルに宿泊している人たちが孤立することは想定されるので、ソフト面で何か考えている気はします。そこは私も詳しく勉強していないため、ここでなんとも言えないのですが、場所によっては国立公園内なので、散策路であっても新たにそのようなものを設けることが非常に厳しい条件、制約が出てくると思います。

また、作ったら草刈りなど維持管理しなくてはいけません。当然防災のほうで何かは考えていると思います。

**≪部会員≫**

あの地域で災害が起きたら色々作っても全部寸断されるかもわからないですし、なんとなくきりがない話です。

**≪庁内委員≫**

例えば、本格的に自衛隊に災害派遣要請をするなど、ハード的なものでなくて次の大きな対応策としてなんらかの手だては考えている気がします。

**≪部会員≫**

大きいヘリポート作っておくとかですね。

**≪部会員≫**

ここにヘリポート作ったらいいねという話は観光協会としていました。

**≪庁内委員≫**

たしか、倶多楽火山の防災計画を作らなくてはいけないという話があります。そのなかで、例えばあそこが孤立した場合どうするかなどそういう話も話し合われるのではないかなと思います。

**≪部会員≫**

鷲別などは網の目状に山道があるので、津波でひどい状態になった時に使えるようにした方が良いです。ほとんど草刈りをしなくても歩けます。きちんと把握して、何かあった時に持ち出して指示が出来るようなものがあってもいいかなと思います。その中に昔から作ってきた古道を入れるのも面白いと思います。歴史的な活用、文化的な活用、防災的な活用が出来ます。

**≪部会員≫**

防災関係の部会はあるのですか。

**≪事務局≫**

防災・環境部会はあります。

**≪部会員≫**

その中で今言ったような災害時のいろんな対応策とかそのような話題にはなっていますか。

**≪事務局≫**

今のところそこまでの話題にはなっていません。高台の避難所など、マップが出来たら回ってみたいという話は出ていますが、具体的にループ化や孤立の話は話題にはあがっていないです。

**≪部会長≫**

避難に関して思ったことがあります。ループ化も良いですが、津波は時速６０～７０ｋｍというスピードですので、例えば、鷲別あたりの平たい部分が続くところは、災害が起こった時だけ山側に一方通行にして２倍の交通量にして車を通す。

あるいは、災害時にもし車が空いていれば誰でも乗せるよというシールを市が主導して配り、そのような車を歩行者から認識出来る状態にする。道路交通法などがあり難しいのですが、今既存のもので避難速度を上げたり、避難方法を決めたり、あまりお金をかけずに効果が２倍になるのはすごく大きいことなので、そのようなものを研究する余地はあると思います。

また、桜並木で有名な川がありますが、あれがなぜ桜並木なのかというと、花見に来る人に堤防を踏み固めてもらうために桜を植えたというのが始まりらしいです。古道沿いに桜並木になるように桜を植樹して、観光する人に常に踏んでもらうなど、積極的にお金をかけるような手のかけ方以外にまだ出来る工夫があるかなと常日頃から思っています。

**≪部会員≫**

では山に住んでいる人は、車で下りない、車を使わない、出来るだけそこにいるように言わなくてはいけませんね。

**≪部会長≫**

場所によって何が良いのかは違ってくると思うので、そういうのを研究する余地はありますね。

**≪部会長≫**

お年寄りは、隣の家の車に市から配られたシールが貼ってあるから乗せてくれる、などわかりやすいですね。善意のある人にちょっとしたシールを配ります。

**≪副部会長≫**

それは町内会でまとめてもらいたいです。何かあったら隣の人に乗せてもらう、こういう段取りでいますというのを町内会でまとめてもらいましょう。

**≪部会長≫**

車で走っていても、災害があって歩いている人を見つけたら乗せてあげるとかですね。イタズラがあっては困るので、登録制にして番号が付いたシールにするなど。防災に関しては今まで研究していない手法があると思って考えていました。

ハード面の整備も大事で、例えば岩山が崩壊するのは風化が原因で、削って常にフレッシュな面を見せておくのが１番の安全対策です。野口観光から上に抜けていく道はだいぶ古くなっているので、手を入れていかないとだめですよね。ハードでいくのか、ソフトでいくのか難しいことが色々あると思うのですけどね。

**≪部会員≫**

アイディアを出していけばどんどん出てきそうですね。

**≪部会長≫**

地元の建設協会とか測量協会のみなさんからみて、あれはどうなのでしょうかということも結構あると思います。それを全て解決するのではなくて、関係部署に来てもらって、質問をぶつけるような形から少しずつでもやっていけばいいのかなという気がします。

**≪副部会長≫**

市営アパートの話とかマップの前の話に戻せばいいのではないでしょうか。

**≪部会長≫**

リノベーションをもう少しなんとかなりませんかという話もしていましたね。

**≪部会長≫**

市内に就職された独身者はどうなのでしょうか。

**≪副部会長≫**

それもしばりがあるのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

いえ、独身者もたしか入れます。

**≪部会長≫**

雇用促進住宅がないので、そういうのもありという話もしましたよね。

**≪庁内委員≫**

最近は申込みがないところも多いので、そういうところは随時受け付けしています。

**≪部会長≫**

あとは点数制にしたいという話もしていましたね。今は抽選ですが、抽選が公平なのかという話です。

**≪副部会長≫**

はずれたら２回引けるというやつですね。

**≪庁内委員≫**

新生団地は人気ありますが、幌別東団地は空いています。

**≪部会員≫**

結局、人気があるとこの家賃は高くて、人気のないところの家賃は安いという当たり前のことが出来ていないからです。それは縛りがあるから出来ないと言われてしまうとそれまでですが。

**≪副部会長≫**

人気があるところとそうではないところでは家賃は相当違うのですか。

**≪庁内委員≫**

収入で決まっています。

**≪事務局長≫**

場所によって係数はないのですね。

**≪副部会長≫**

安くしてしまえば良いのです。

**≪部会員≫**

人気がなくて空いているのであれば、収入が高くても公営住宅に安く入れれば良いです。そういう理屈は通らないのですか。

**≪庁内委員≫**

入れることには入れます。あまりにも収入が高かったら入れませんが。

**≪部会員≫**

公営住宅の入居、管理、料金徴収を市役所でやらずに不動産屋に任せたほうが、コストがずっと安く済むと思います。

**≪事務局≫**

道営住宅はそうでしょうか。

**≪庁内委員≫**

道営住宅は入居も含めて民間が管理しています。

**≪部会員≫**

苫小牧市もです。

**≪庁内委員≫**

民間に任せるのは良いですが、先ほど言った一定のルールが取り扱えるかどうかが１番の問題です。委託はしたいですが、全てをやってくれる民間さんがいるのかどうかもです。

**≪部会長≫**

それを考えるのであれば、入居に際して、障害者がいるから５点、子どもが２人いるから何点、低所得者だから何点、など点数制にしてはっきりルールを決めれば民間も仕事として受けやすいです。たしか釧路市は点数制です。それも研究する余地はあります。

**≪部会員≫**

市営住宅は人口に対してどれくらいの戸数を作らなくてはいけないという決まりはありますか。

**≪庁内委員≫**

あまり聞いたことがないです。余っているところは余っています。

**≪部会員≫**

そういう矛盾は市役所でやっているから生まれます。しかも民営を圧迫しています。役所もお金がないのですから作らなければ良いのです。

**≪庁内委員≫**

減らしてはいく予定です。

**≪部会員≫**

市営住宅を建て替える時に、民間に建て替えさせれば良いです。そういうことを考えられないのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

長寿命化計画で再配置や適正戸数といった計画を今年から作ります。

**≪部会員≫**

市営住宅を作ります、土地は貸しますので、あとは民間でどういうのを作ってくださいという提案型にしてやってみれば良いです。民間は採算が合うように考えます。家賃の縛りもあるでしょうから、市営住宅にかかっているコストをどれくらいみれば民間が出来るのか、そのようなシミュレーションを１度しないと今のままの繰り返しです。

**≪庁内委員≫**

減らすところは減らしていくという思いはあります。千代の台の合算で少しは減っています。ただ、つぶしてどうしようかという話も出ます。

**≪部会長≫**

人口に適した戸数というのはあると思います。例えば、人口問題研究所によれば２０３２年くらいには登別市の人口が４万人を切るということなので、それに対応した数は出てこなくてはいけないです。

**≪部会員≫**

逆の発想もあります。古いからつぶし、そこに住んでいる人を民間で空いているアパートに付帯替えする。新しく建てなくても、民間の空いているところで吸収できる。そういうことをどこか１つでやってみれば、今後こういう方式が良いのではないかという案が出てきます。民間の知恵を入れてもう少し模索すれば良いです。

**≪部会長≫**

一気にやる、やらないではなくて、担当部署とグループワークみたいな形でアイディアを出し合うのも良いですね。

**≪部会員≫**

民間は採算に合わないことをあまりやらないので、プラスになる部分を取り入れて、新しい市営住宅の形を少しずつ模索していけば良いですね。

**≪庁内委員≫**

幌別東団地など人気がないところを無くして街中に寄せたいですね。

**≪部会員≫**

それはコンパクトシティを考えるということでもありますね。やはり人気がなく離れているところは無くしていきたいですね。

**≪部会長≫**

コンパクトシティの発想からいうと、市内中心部に寄っていきたいというのはあります。町場に寄れば、買い物するところもだんだん町場になり、買い物弱者もいなくなります。

**≪庁内委員≫**

どのように町を少しずつ小さくしていくかですね。

**≪部会長≫**

次の部会ですが、これはどうなっているのでしょうという質問くらいから始めて、お答えいただいた中で疑問点や改善点を詳しく話していきたいと思います。

次回の部会の時までに皆さんが気になるところを見てきていただければ良いかなと思います。

【次回の日程について】

平成３０年５月２４日（木）　１８時３０分から